



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

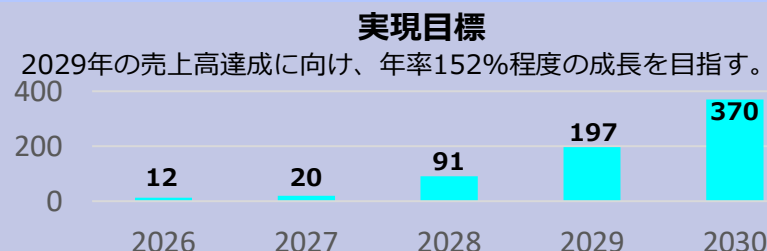


代表取締役
高桑 昌也

持続可能な社会インフラを構築・運用する次世代型コングロマリットへ

私たちは公認会計士事務所として、東証グロース市場をはじめ、数多くの成長企業の会計・税務業務支援、資金調達に携わり、国策であるAI DC事業・蓄電池事業をはじめとする事業創出を提案・実施。時価総額100億円企業への成長に導くノウハウを培ってきた。そのノウハウを、今度は自社の成長に活用。AIの普及に伴い、日本の産業競争力は計算基盤（データセンター）の整備にかかっています。私たちは北海道の冷涼な気候と再生可能エネルギーを活かし、蓄電池による資源循環も組み込んだ環境配慮型のAIデータセンターを構築することで、この国家的な課題に応えます。会計事務所の枠を超え、日本のAI社会インフラを支える企業へーそれが私たちの挑戦です。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- ・ 労働集約型ビジネスの成長限界
- ・ 属人的な専門性からの脱却
- ・ コンサルティング会社から次世代型社会インフラ企業への転換
- ・ GPU・蓄電池等の主要設備の安定調達
- ・ データセンター運営の実務ノウハウの確立
- ・ 中堅企業への移行に必要な人材確保・組織体制の拡充

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ フィー収入型から資本参加・資産保有型事業への転換（北海道DC事業を中核事業化）
- ・ プロジェクト単位での出資獲得に向けて、培ったストラクチャー・金融機関への提案・交渉力を基とし、適正に実行。
- ・ 組織的ガバナンス体制の構築
- ・ GPU・蓄電池は複層調達体制で確保
- ・ 太陽光EPC・系統接続の申請等は専門パートナー連携と外部専門人材の招聘
- ・ 提携金融機関を2行→5行→10行体制へ拡大、北海道夕張郡栗山町へ第二本社設置で人材確保

実施体制

- ・ 既存事業伸長に向けた、紹介パイプライン(金融機関等)の強化
- ・ 中堅企業への移行を見据え、組織体制・人材採用を計画的に拡充
- ・ AIデータセンター事業では、代表取締役を中心に、事業責任者・製造責任者・管理責任者による推進体制を構築
- ・ インフラ運用・金融(カーボンクレジット)分野で実務経験を持つ外部専門人材を招聘
- ・ 発電設備・蓄電池・系統連系の各分野でパートナー企業を拡充



AIデータセンター

○本社所在地：東京都港区虎ノ門1丁目23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー18階

○事業概要：会計・税務・M&Aアドバイザリー、ファンド組成事業を核とし、北海道における再生可能エネルギー併設型AIデータセンター事業を展開

○常時使用する従業員：14名

（2026年7月時点）

○現在の売上高：12億円

（2026年6月期）

○法人番号：3010403015483

○Web：https://www.tkwf.jp/